

[illegible]

■ ■ ■ 11月 第一例会レポート ■ ■ ■



YMCA 日本語学院の犬飼英男主任教諭にお越しいただき、「多文化共生にける思い」という題でクイズを交えながらお話をいただきました。元々日本語教師になりたかったが ガス会社に 17 年間勤め海外出張することも多く、またボランティア団体に参加することで奥様が先に日本語教師になったこともあり 18 年越しの夢をかなえて自らも日本語教師となったそうです。そして日本に留まらず青年海外協力隊員としてインドネシアに身を置き日本語を学ぶ外国人の気持ちを理解しようとされました。日本人は外国のことを知らないこと、理解していないことが多く、それが怖さにもつながっています。だから多くのことを知っ

てもらうことで共生できるということが分かったそうです。そして縁があり YMCA 日本語学院の教諭となられました。日本語学校は留学生が色々な夢をかなえる為の要、多文化共生の要の場所であることを語られました。共生を実現するために、YMCA の中で日々の授業は勿論、スピーチコンテスト、遠足、文化祭、チャリティーラン、バザー等どれも大切な活動となっています。また「にしにほんごの会」という他の団体にも参加され 交流や学び合う場として活動しています。今後も日本語を学びたい方は増えていくことが予想されます。共に生きる社会を実現していくことが大切ということを力説されました。最後に日本語を教えるにあたって例題もだしていただき、注意点を交えながら解説していただきました。ワイズメンからも諸々質問が出て多くの学びのあった例会となりました。

(中井信幸)

■ ■ ■ CS 事業 愛実の会いもほり体験招待 ■ ■ ■

愛実の会は、身体に重いハンディキャップのある方々が通う生活介護事業所です。例年はクリスマスに訪問してケーキや歌のプレゼントを行ってきましたが、今回初めて南山ハーベストクラブの協力を得て、いもほり体験を CS 事業として実施しました。11 月 7 日（木）当日は、秋晴れで絶好のいもほり日和となり、愛実の会からは、障がいメンバー 8 名



に職員 9 名の計 17 名が来園し、名古屋ワイズからは加藤、川本、都築、戸田、西村、平野、渡辺の 7 名、南山ハーベストから 3 名、その他 2 名の計 29 名の参

加となりました。メンバーの方は肢体不自由があることから、畝の間をならしてスペースを作り、ブルーシートを敷いて横になれるよう事前準備をしました。職員さんが 1 対 1 で身体を支えないと座位を保つことができず、ワイズメンバーと 3 人一組でお芋ほりのチャレンジが始まりました。畑で土に触る、中からお芋が出てくる、出てきたお芋のツルを引っ張り上げ大喜び。実りの秋を肌で感じ、お互いにとって実りのある貴重な体験となりました。また 12 月 21 日には 愛実の会からのクリスマス会招待が届いています。みなさん一緒にお祝いしましょう。

(戸田真二)



■ ■ ■ チャリティーラン 2024 レポート ■ ■ ■

皆さんの記憶では、31 回の歴史の中で雨中での開催は 2 回目とのこと。「雨ニモマケズ」第 31 回チャリティーランは、11 月 2 日（土）名城公園にて実施されました。（39 チーム・93 名の個人申込） 詳しい結果は報告書に譲りますが、午前 8 時の集合前から、カッパに身を包んだ多くのボランティアの皆さんが、大雨の中テント立てやコース設定に励む姿に感動を覚えました。

名古屋ワイズが支援したチームは、本館アフタースクール Fun の子どもたち・チーム名「チーム最強」と南山サッカーの子どもたち・チーム名「南山サッカー B」でした。順位は 20 位台でしたが、雨の止み間や小降りになった時もあり、安全に楽しく、全員で完走することができました。「タスキ

を次の人につなぐ経験は、とても良かったです。」との指導者の言葉でした。雨男・雨女の汚名を晴らすべく？（誰かは知りませんが・・・）、来年のチャリティーランに向かいたいと思います。事前にスポンサーするチーム名をお伝え出来なかったことを、この場を借りてお詫びいたします。

(大会実行委員長 加藤明宏)



演奏者紹介 HSE48

12月 クリスマス例会

2018年に「アラ還の挑戦」と新聞紙上に報じられ、子育てを終えた世代がもっと元気に！という願いで結成。始まりは3人だったバイオリンアンサンブルは現在メンバー60人。HAPPY STRING ENSEMBLEの頭文字をとってHSE。2021年にメンバーが48人に達しHSE48とした。合言葉は「人生100年熱中時代」現在、大垣・岐阜・尾頭橋・熱田・車道・本郷・豊橋の7教場で活動を行っている。

今回は以下の6名の方に演奏していただく（敬称略）

【バイオリン】岡部由紀江、茶木勝代、辻純子、辻昌宏、横尾慶子 【ピアノ】小関洋子

【曲目】地上の星、プラチナのように、きよしこの夜、他

第2例会レポート

と き:2024年11月18日(月) 19:00～20:30

ところ:Zoom リモート

1. 12月以降の例会 内容&卓話者 候補

12月例会 12月14日(土) クリスマス例会 (後述)
1月例会 1月14日(火) 卓話例会(候補者:大澤和宏氏)
2月例会 2月11日(火) 卓話例会(候補者:内河恵一氏)
TOF 例会

2. CS事業「愛実の会:いもほり体験招待」

- 11月7日(木)に実施した内容を「CS事業報告書」にまとめ、西日本区に提出する。戸田ワイズ

3. CS事業「愛実の会:クリスマス」

- 12月21日(土) 10:45～12:30 愛実の会にて実施
- 今年は、愛実の会がプログラムを企画し(人形劇)、私たちを招待していただける。
- 名古屋クラブとしては、予算4万円でケーキ3個+献金のクリスマスプレゼントを用意。
(ケーキ・献金の担当:加藤ワイズ)
- 名古屋クラブメンバーに留まらず、YMCA スタッフ・リー

ダーにも声を掛け、愛実の会を知るきっかけとしたい。(呼びかけ役:中井ワイズ)

4. クリスマス例会について

- ・アトラクションゲスト「HSE48」
- ・2024年1月以降の卓話講師をご招待する。
- ・参加者募集状況:南山ハーベストクラブ、いのちの電話、特別メネット、メネット、コメット、YMCA メンバー・リーダー OP、ワイズ OP に幅広く呼び掛けていく。
- ・参加申し込み期限 12月4日:書記 川本まで

5. 今後の予定プログラム (YMCA、ワイズ)

- ・名古屋 YMCA クリスマスキャロル in タワーズ (12/7) タワーズガーデン
- ・名古屋 YMCA ピンクシャツアクション (2025.2/26) テレビ塔?
- ・名古屋 YMCA リーダー感謝会 (2025.3/20) 南山 YMCA?
- ・ワイズ 西日本区大会 (2025.6/14) ANA クラウンプラザホテル神戸
- ・ワイズ アジア太平洋地域大会 (2025.8/1-8/3) 熊本城ホール・ホテル日航熊本

第23回日本YMCA大会参加報告

11月15日(金)～17日(日)国際青少年センター YMCA 東山荘にて、第23回日本YMCA大会が開催されました。全国の都市YMCA・学生YMCAから約240名が参集(内半数がユース世代)しました。「Link! ～[私]、YMCA、世界、そして未来」をテーマに、現在の私・YMCA・世界を再確認した上で、2030年の私が、YMCA



が、そして世界がどうあるべきか?それぞれのあり姿を思い描く時間となりました。世界YMCAで展開中のVision2030

を意識した大会であったと感じました。4つの柱の中、特に今回は「持続可能な地球のために」をフィーチャーした、気候正義についてのレクチャーが印象的でした。

前回大会より始まり前回グランプリを受賞した、名古屋YMCAの「全国Yの「日本一」自慢」では、ユースリーダーが「2030年の名古屋YMCAは、高校生の居場所が確立され、毎日高校生が生き生きと活動している姿」をプレゼン!前回グランプリの貫禄で立派に発表してくれました。結果は準グランプリ!大したものです。

恒例の日本YMCA同盟表彰式においては、我が名古屋クラブより、50年継続会員賞として、相馬静香さん、加藤明宏さんの2名が受賞、また青少年奉仕賞にはグランパスクラブの荒川恭次さんが受賞されました。誠にありがとうございました。
(川本龍資)



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

「わたしの魂は主を待ち望みます、見張りが朝を待つにもまして、見張りが朝を待つにもまして。」

(詩篇 130 章 6 節)

西 村 清

12 月はクリスマスの季節です。しかしそれに先駆けてアドベント（待降節）がきます。キリスト教の暦はこのアドベントから始まると言われます。クリスマスの 4 週間前から、今年は 12 月 1 日がアドベントで、24 日まで続きます。その間アドベント・クランツを飾り、日曜日の礼拝ごとにローソクに一本ずつ火を灯していき、最後には 4 本のローソクに火がともり、そしてクリスマスには 5 本目に火を灯してクリスマスを祝います。光であるキリストがこの世に来てくださるのを待ち望むという意味があります。

そして世界の歴史はキリスト降誕の年を西暦元年としました。ですから紀元前を B.C. と言い、キリスト以前、Before Christ の略です。紀元を表す A.D. は主の年、キリスト誕生後の年、Anno Domini の略です(なぜか B.C. は英語で、A.D. はラテン語です)。人間存在のただ中にキリストが来て下さったという信仰に基づいていると言えます。つまりキリストの誕生が歴史の中心として覚えられている

のです。

冒頭の聖句はアドベントによく読まれる詩編(旧約聖書)です。ユダヤ人がバビロンに捕囚として連れて行かれ、その後、ペルシャがバビロニアを征服した際、ユダヤ人はバビロンからの帰還が許されました。しかし祖国に帰ってもエルサレムは荒れ果てていました。そこで神殿の再興と城壁の修理に取りかかるのですが、隣のサマリアを初め、近隣の国々から妨害を受けます。だから半数が工事に、半数が見張りに立って復旧工事を進めました。特に見張りに立つ者はいつ矢が飛んでくるかもしれない。特に夜陰にまぎれて攻め込まれる恐怖が強かったと言われています。長い夜を不安と緊張の中で過ごしながら、夜明けをどんなに待ち望んだことでしょうか。

このように、主(イエス・キリスト)の降誕を、アドベントの時に待ち望むのです。見張りが朝を待つにもまして、主のご降誕を待ち望むのです。クリスマスはこのような待望の背景をもっています。

YMCA ニュース

保 育 園

この 12 月でようやく「こひつじ保育室」も定員の 19 名に達します。でもこひつじ保育室の入園状況はここ数年大きく変化しています。9 年前こひつじ保育室ができたときは 0 歳児がすぐに定員に達し、1 歳児が 2 学期以降に徐々に入園し、2 歳児はガラガラという状況でした。私が園長になってからは、常に 0 歳児に空きがあり 1 歳児から定員になるという状況でした。社会の中で「子どもが 0 歳児の間は育休」ということが、現在は当たり前になっているからです。その分 1 歳児の入園が極端に難しくなっています。去年は役所とも相談し、待機児童や希望の多い 1 歳児を 10 人枠にして 0 歳児枠を減らしました。小規模

の他園では入園枠を全て 1 歳児にしているところもあります。「保育園、保育士が足りない」とよく言われますが、反面、子どもの確保にバタバタしているところも多くあります。働き方の変化、公共機関からの補助、地域や社会のニーズ等色々な要因はありますが、YMCA が行うことはたった 1 つ「人に寄り添ったプログラムの展開」です。それを先見の明を持って進めていければと思います。

(中井信幸)

クリスマスキャロル当日の運営協力をお願い

日時:12 月 7 日(土)12 時 30 分～16 時

内容:会場設営や撤収作業の応援・会場での広報や警備等です。参加協力をお願いします

名古屋ワイズ ホームページとフェイスブックの紹介

名古屋ワイズメンズクラブの様々な情報はパソコンからは

HP:<https://nagoya-club.wixsite.com/toppage> FACEBOOK:名古屋ワイズメンズクラブと検索

スマホからは 1p 表題にある QR コードをスキャンすれば見る事が出来ます。

一度覗いてみて下さい

メネット

メネット

1 日 鈴木 郁子さん